令和7年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 シラバス

◎カリキュラム総時間 2480分

I. 地域共生社会に求められるリハビリテーション職種（765分） 6月中旬～9月

◎受講生の到達目標

- ・地域 / 地域共生社会とは何か考えを述べるができる。
- ・様々なライフサイクルの中で自助・互助・共助・公助が絡み合うことの大切さを説明することができる。
- ・地域共生社会の実現に求められているリハ職像を述べるができる。
- ・様々な制度や社会情勢の中で、リハ専門職が活躍していることを知っている。

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い	45分	滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央
②地域共生社会の実現に向けた動きと方向性	90分	政策研究大学院大学 小野 太一 氏
③地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職	90分	滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央
④地域共生社会の実現に向けて先進的な取り組みを行うリハ職の実践 -リハ職の視点を地域社会に活かす-	各90分 6コマ	
（子ども分野）		NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏
（就労分野）		就労支援事業所 ハートスイッチ 千葉 由香里 氏
（福祉分野）		津山市役所 安本 勝博 氏
（デジタル分野）		株式会社アシテック・オコ 小林 大作 氏
（スポーツ分野）		びわこリハビリテーション専門職大学 木岡 和実 氏
（産業保健分野）		株式会社地域リハデザイン研究所 岩倉 浩司 氏

Ⅱ. 地域リハビリテーションを推進する地域資源とその現状 (680分) 7月～9月

◎受講生の到達目標

- ・滋賀県の医療福祉、障害福祉の仕組み（理念・法律・サービス・地域での動き）について概要を知っている
- ・地域共生社会の実現に向けた取り組みについて知っている

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①障害福祉を取り巻く法制度の概要基礎—共生社会に向けて—	90分	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 大平 眞太郎 氏
②地域共生社会に向けた県内のリハ職の実践事例	90分	地域リハ人材育成研修会修了生
④滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション専門職への期待	各40分 2コマ	・滋賀県健康しが推進課長 ・滋賀県医療福祉推進課長
⑤見学実習	210分 2コマ	滋賀県内各施設 * 医療福祉、障害福祉に係る事業所等

Ⅲ. 地域リハビリテーションの推進に求められる能力 (360分) 11月～12月

◎受講生の到達目標

- ・地域リハビリテーションを支える支援者の専門性や価値観を説明できる
- ・リハ専門職の専門性を他の支援者に理解できるように説明することができる
- ・自らが勤める地域にどのような地域資源があるか調べ、述べるができる
- ・地域診断に必要な能力を述べるができる

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力	180分	吉備国際大学保健医療福祉学部 京極 真 氏
②リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎	180分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏

IV. 地域リハビリテーションの推進に向けた実践 (675 分) 12 月～2 月

◎ 受講生の到達目標

- ・包括的に“人”や“地域”を見る視点を再確認することができる
- ・リハ職が自らの視点を他職種に理解してもらえるような説明が行える
- ・地域での課題を解決するための方策を立案できる
- ・これから地域でリハ専門職に求められる能力を述べ、自らのこれからの行動立案が行える

■ 内容および講師

タイトル	時間	講師候補 (所属・氏名)
①地域リハビリテーションマネジメント基礎演習 地域課題を見出し、実現可能な個人施策の骨子を立案	315 分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 (研修補助 リハビリテーションセンター職員)
②地域リハビリテーションマネジメント応用演習	360 分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 ・コメンテーター 滋賀県健康医療福祉部健康しが推進課職員 人材育成活用推進検討会議委員など